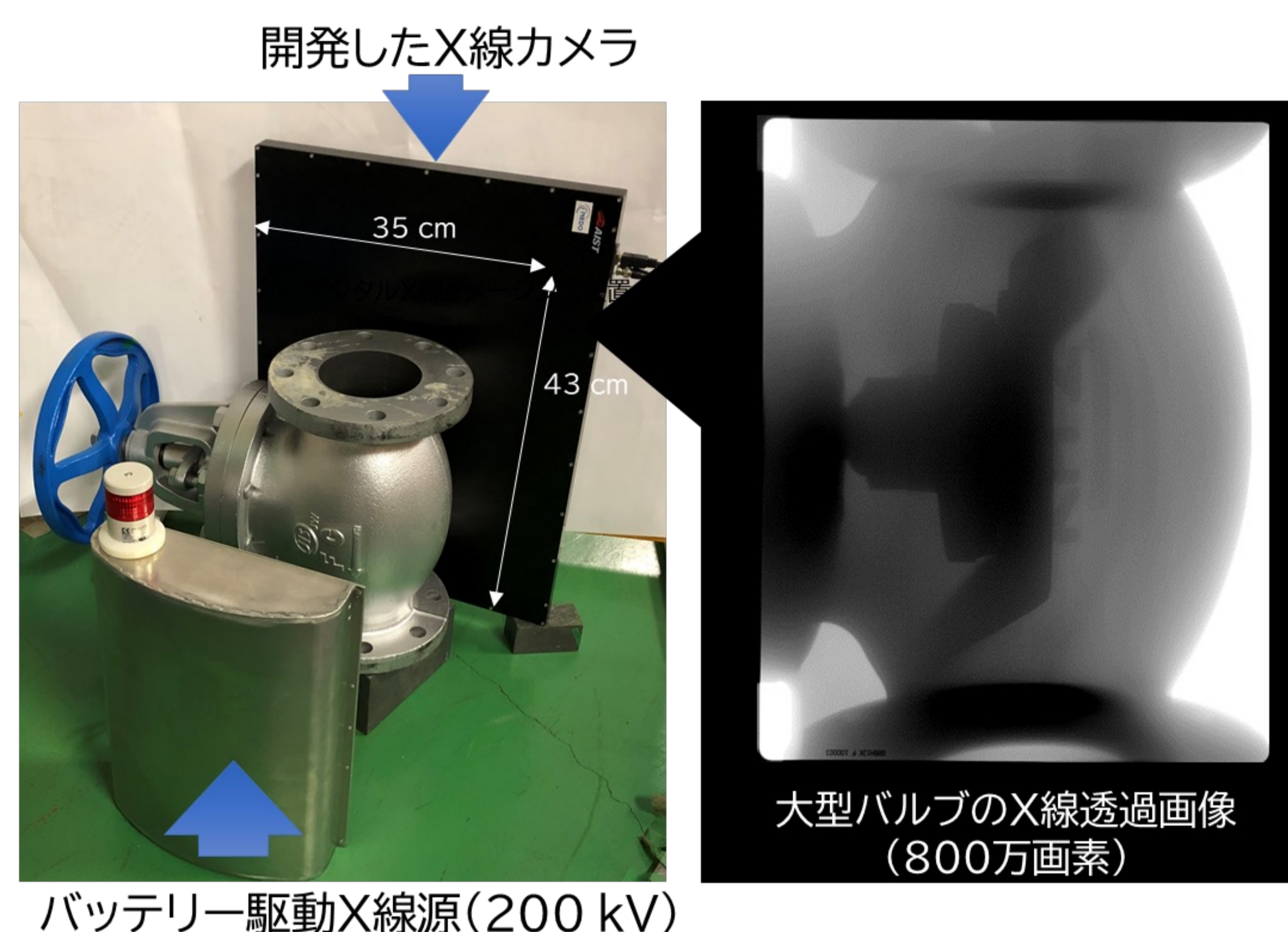


“見えない”内部を“見える”に変える ～大面積・高精細デジタルX線カメラで革新的な非破壊検査を～

- 見えない内部の状態を、X線で“はっきり”と可視化
- 高感度で低線量、安全性が高く、資格がなくても扱える場合も
- 従来よりもスピーディで正確な検査により、生産性と信頼性が向上

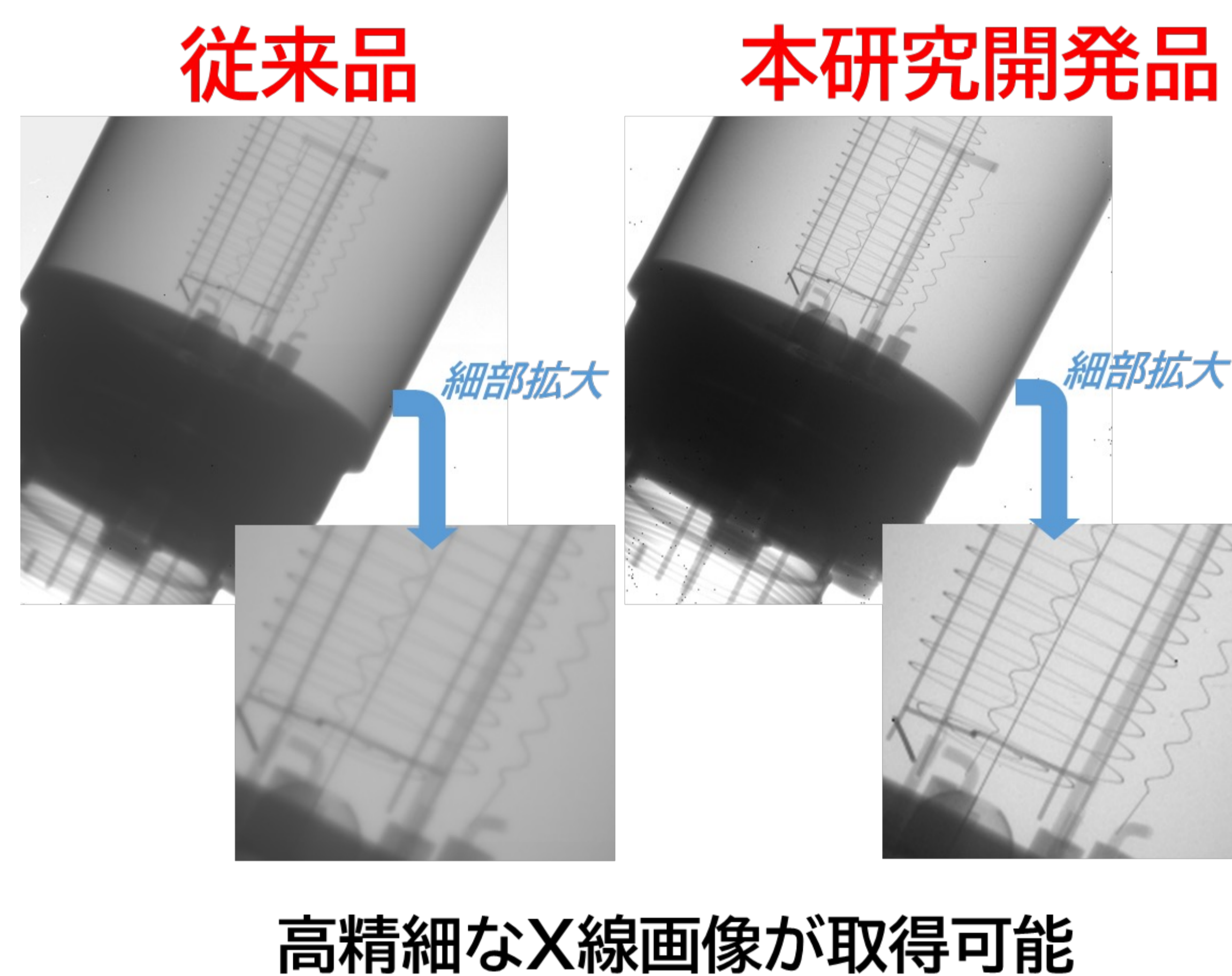
研究開発の狙い

工場設備やインフラの老朽化、製品不良の早期発見・予防保全が重要視される今、「安全」と「品質」を守るための非破壊検査技術が求められています。私たちは、現場で“簡単に”“確実に”使えるX線検査技術の開発を進め、企業の皆さまとともに、ものづくり現場の課題解決を目指します。



研究内容

私たちは、ディスプレイ製造技術を応用し、高感度・高精細で広範囲を一度に撮影できる次世代型の「フラットパネルX線カメラ」を開発しています。従来課題だった「感度と画質の両立」や「大面積対応」を克服し、10cm厚の鉄の内部まで鮮明に可視化できる性能を実現。漏洩線量も大幅に抑え、安全性が高く、用途によっては専門資格なしでも使用可能です。



今後の展開

用途や対象物に応じて、必要なスペックは大きく異なります。私たちは、“何が見たいか” “どう活かしたいか” に応じて、最適なX線検査装置をご提案し、カスタマイズ対応も可能です。「今まで見えなかった部分が見える」それだけで、生産性・品質・信頼性が大きく変わります。まずはお気軽にご相談ください。